第126期生徒会発足
「高高の伝統を守っていきたい」

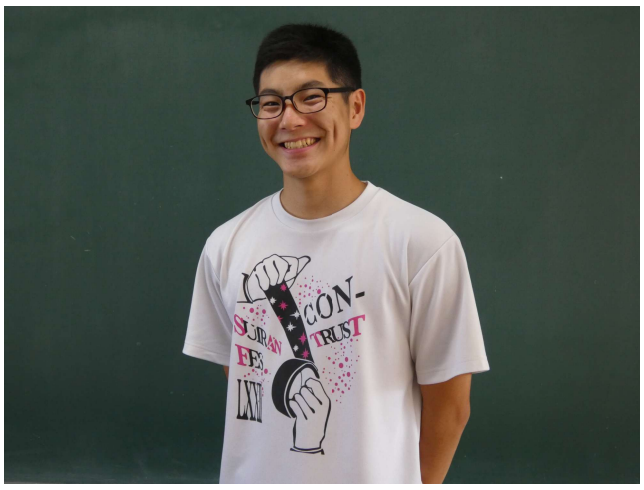
6月9日に生徒会選挙が行なわれた。今年は、2名が生徒会長に立候補し、田嶋龍介くん（2の1）が当選した。副会長には武野希絆くん（2の1）と須永寛山くん（2の6）が就き、126期生徒会は会計、デジタル、外交、交通、式典、環境、部活、そして今年度から加わった書記の8つの課で運営されている。新生徒会長の田嶋くんに話を聞いた。

立候補した理由を聞くと、「近年、行事の面で高高は変革の時を迎えている。そのため、生徒会長という立場で生徒の気持ちを一つにまとめ、誇りに思える高高をつくりたいと思ったためだ」と語った。

また、自身が考える高高の理想像について、「形容しがたい『男子校らしい団結力と勢い、知性、歴史』にあると思う。受け継がれてきた伝統を守りたい」と述べ、演説の際には、「自分の思いを伝えることを第一に臨んだ。応援演説の人も頼もしく、自分ならよい生徒会がつくれると確信していたため、それほど緊張はせずに挑めた」と話した。

力を入れたい取り組みに関して、「高高の伝統的な行事を、時代に合わせつつ続けられるようにしたい。例えば対面式だ。かつては暴言や物が飛び交っていたが、ここ一、二年はマイルドになり、かつてほどの迫力はなくなった。また、準備の時間が十分に確保できず、満足のいく話し合いができなかった。そのため、対面式だけでなく行事を行なう前には、生徒に要望などのアンケートを取り、議論を深めることでよりよい行事の運営を目指したい」と答えた。

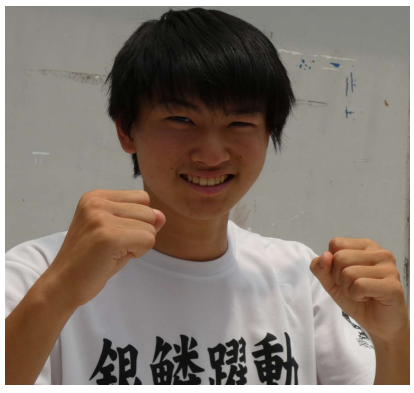
最後に、これからの活動について、「コンプライアンスが厳しくなった近年、時代の流れに従うことが必要だと思う。みんなが誇れる高高の実現のため、精一杯がんばりたい」と意気込んだ。（土田）



新生徒会長の田嶋くん

会長	2121田嶋龍介
副会長	2120武野希絆
	2620須永寛山
書記	2225嶋村碧也
会計	2618櫻井悠人
デジタル	2609片貝晃士
外交	2127成田桜一朗
交通	2231田胡琢磨
式典	2113佐藤有漣
環境	2723竹渕遥希
部活	2619清水大翔

翠巒祭新実行委員長
さらなる進化を目指す



意気込む今野くん

第73回翠巒祭が幕を閉じ、第74回翠巒祭の新実行委員長が決定した。今後は、今野有基くん（2の4）が新たな実行委員長となり、準備、運営をリードしていく。そこで、今野くんに取材を行なった。

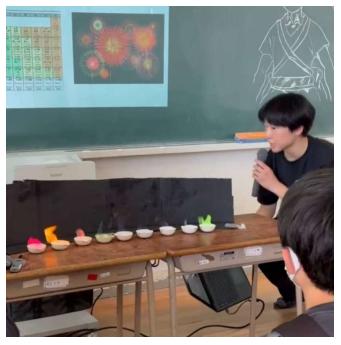
まず、実行委員長に立候補した理由を尋ねると、「高高を代表するイベントである翠巒祭をまとめていきたいと考えたからだ」と話した。

次に、来年の翠巒祭で挑戦したい事については、「高崎駅からのシャトルバスなどの、交通の便を向上させたい。具体的には、バスの便をできるだけ増やし、効率よく利用できるようにすることを考えている。さらに、それぞれの展示物を、今年世界記録を獲得した壁画を超えるほどのものにしていきたい。実行委員の内部でお互いが連絡を徹底し、協力し合う体制を構築しようと思う」と語った。

今年の翠巒祭については、「アーチ班等装飾の班が頑張っていたと思う。中でも壁画で世界記録を獲得できたのが良かったと感じる。全体を通して、以前よりもすばらしいものとなった」と話し、「来年の翠巒祭は今年よりもさらに良いものにし、絶対に成功させたい」と意気込んだ。（福田）

部活・クラス展示
化学部と3年4・5組が1位

翠巒祭では、各クラスや部活動ごとに展示を行なう。そして、来場者にどの展示が良かったかアンケートを取り、順位を発表している。今年は、それぞれ13の部活動展示とクラス展示が行なわれた。その中で、部活動展示では化学部が、クラス展示では3年4・5組が1位を獲得した。そこで、化学部部長の佐藤匡くん（3の1）と、3年4・5組のクラス展示のリーダーである村山慧くん（3の4）に話を聞いた。



解説をする化学部員

化学部は、スライム作りや、シャボン玉の中に人が入る実験ショーなどで、来場者を楽しませた。佐藤くんは、これらの展示を行なった理由について、「3位に選ばれた昨年の内容を参考にした」と話し、部活動展示に対しては、「1位獲得を目指して全力で取り組んだ」と思いを述べた。最後に、「例年、鉄道研究部が人気である。そのため、化学部が1位に選ばれたと知ったとき、やっと自分たちの順番が回ってきたという思いだった。私は化学部の展示が一番面白いと確信している」と笑顔で語った。

クラス展示の様子

3年4・5組は、「ポケットモンスターマウンテンモンキー」という展示をした。この展示では、ポケットモンスターに登場するキャラクターを使ったミニゲームを行なった。村山くんは、「周りのクラスに負けたくないという気持ちで頑張った」とクラス展示への熱い思いを語った。また、「今回の展示にはかなり自信があったので、落ち着いて順位の発表を聞くことができた。1位という結果を知ったとき、展示に参加した全員で喜びを分かち合った」と述べた。（山田）

翠巒 Mini Press 189号 2025/7/18
編集・発行 高崎高校新聞部

紙面割　表・裏　福田